平成 27 年度社会福祉法人久慈市社会福祉事業団事業報告

I 事業の概要

平成27年度からの介護保険法の改正に伴う介護報酬単価の見直しにより、基本報酬単価が 大幅に減額改定されるなど、介護保険サービス事業所は厳しい財政状況にある。

また、介護保険業界は全国的に人材が不足しており、職員が疲弊し離職者が増加する傾向にある。

養護老人ホームにおいては、介護保険事業者の指定を受け、一部、介護保険による介護サービスの提供により施設運営の安定化を図り、利用者の生活環境の向上に努めてきたところである。

また、介護予防の視点から、高齢者の生活において、活動性の維持、要介護状態の防止等を目的とする「介護予防事業」による「目標を定めたサービス」の提供が実施されていることから、サービスの質の向上と地域や関係機関との連携が益々重要となっている。

当事業団においては、平成27年度事業計画に基づき、久慈市が設置した社会福祉施設のうち、第1種社会福祉施設2施設(特別養護老人ホーム「ぎんたらす久慈」、養護老人ホーム「養寿荘」)、第2種社会福祉施設5施設(老人デイサービス事業「大川目地区デイサービスセンター、元気の泉デイサービスセンター、山根地区デイサービスセンター、宇部地区デイサービスセンター」及び久慈老人福祉センター)を久慈市から指定管理により管理運営し、市と緊密な連携のもとに利用者へのサービスの充実を図るとともに、事務の集中化などにより効率的な運営を図り、地域の福祉サービス及び高齢者福祉等の向上に努めたところである。

なお、平成27年度は、次の5項目を運営方針に掲げ事業を実施した。

Ⅱ 運営方針

- (1) 福祉分野における人材確保が厳しい状況に鑑み、職員の研修制度を拡充した。
- (2)長期的な介護職員の確保と定着を図るため、職員の処遇改善に努めた。
- (3) 多様な利用者のニーズに応える質の高いサービス提供を行い、地域福祉に貢献した。
- (4) 新たに創設された各種加算等について、加算を受けられるよう体制の整備を行った。
- (5) 社会福祉法人のもつ公益性に鑑み、地域貢献活動の推進と併せ、法人組織の体制強化及び 法人経営の透明性を充実した。

Ⅲ 事業内容

1 事業団事務局

事業団の理事会、評議員会の開催及び出納調査を実施し、適正な法人運営に努めた。 また、各施設に苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図るため情報交換会を開催 したほか、各種事業を下記のとおり実施した。

(1) 理事会

会議名	期日	主 な 内 容
第1回理事会	平成 27 年 5 月 25 日	・予備費の使用について(報告)
		・養寿荘運営規程等の一部改正について(報告)
		・事業報告について
		・一般会計収支決算について
		・補正予算(第1号)について
第2回理事会	平成 27 年 12 月 24 日	・業務車両運行管理規程の制定及び就業規則等の一部改
		正について(報告)
		・資金収支補正予算(第2号)について
		・居宅介護支援事業等の新規事業開始について
第3回理事会	平成 28 年 2 月 18 日	・経理規程の一部改正について(報告)
		・資金収支補正予算(第3号)について
		・定款の一部改正について
		・事業計画について
		・資金収支予算について
第4回理事会	平成 28 年 3 月 24 日	・元気の泉居宅介護支援事業運営規程等の制定及び組織
		規程等の一部改正について(報告)
		・施設長の任免について
		・施設長の任免について
		・施設長の任命について

(2)評議員会

会 議 名	期 日	主な内容
第1回評議員会	平成 27 年 4 月 16 日	・理事の補充選任について
第2回評議員会	平成 27 年 5 月 25 日	・事業報告について
		・一般会計収支決算について
		・補正予算(第1号)について
第3回評議員会	平成 27 年 8 月 17 日	・理事の補充選任について
第4回評議員会	平成 27 年 12 月 24 日	・資金収支補正予算(第2号)について

		・居宅介護支援事業等の新規事業開始について
第5回評議員会	平成 28 年 2 月 18 日	・資金収支補正予算(第3号)について
		・定款の一部改正について
		・事業計画について
		・資金収支予算について

(3)出納調査

会議名	期 日	内容
監 査	平成 27 年 5 月 15 日	・平成 26 年度事業報告及び会計監査並びに1月~3月ま
第1回出納調査	平成 27 平 3 月 13 日	での一般会計執行状況
第2回出納調査	平成 27 年 9 月 25 日	・4 月~6 月までの会計執行状況
第3回出納調査	平成 27 年 11 月 27 日	・7月~9月までの会計執行状況
第4回出納調査	平成 28 年 2 月 25 日	・10月~12月までの会計執行状況

(4)福祉サービスに係る苦情解決事業

			内	容	等			
会 議 名	施設名	苦情	目安	郵送	要望	計	再	掲
	加 改 右 	白頂	箱	反	等	ĒΙ	解決	継続中
	ぎんたらす久慈	3				3	3	
	養 寿 荘				1	1	1	
	特定施設入居者生活介護事業							
情報交換会	訪問介護事業							
(平成 28 年 3 月 15 日)	大川目地区デイサービスセンター				1	1	1	
(十成 20 年 3 月 13 日)	元気の泉デイサービスセンター	2				2	2	
	山根地区デイサービスセンター							
	宇部地区デイサービスセンター							
	計	5			2	7	7	

(5)各種事業

事 業 名	期 日	内容
地域公開講演会	平成 28 年 3 月 11 日	・講演「スタッフ間のコミュニケーションについて」
		講師 オッフルエム 田原 美晴 氏
		参加者:49 名(うち外部 12 名)

2 特別養護老人ホームぎんたらす久慈

(1)家族との交流について

家族会との連携を密にし、家族会と施設が一体となり信頼関係のもとに充実した施設づくりに努めた。

- 家族会総会 平成27年5月17日に開催(出席者11人)
- 主な交流行事

夏まつり	7月29日開催	家族 32 人参加
敬老会	9月16日開催	家族 30 人参加

• 面会状況

延面会者数	2, 842 人	月平均	236.8人
(長期・短期)	2, 042 🔨	(長期・短期)	230. 6 🔨

(2)生活面及び健康面について

- ①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。
 - ・誕生者紹介 ・ドライブ ・こいのぼりフェスティバル ・訪問演芸会 ・夏まつり ・ タ涼み会 ・敬老会 ・久慈秋祭り観覧 ・ふれあい福祉まつり参加(福祉施設コーナ 一) ・歳末芸能大会見学 ・クリスマス、忘年会 ・もちつき ・買い物ドライブ ・ 節分(豆まき) ・利用者様製作ちぎり絵展 ・車いすの寄贈 ・鍋を囲む会 ・手作 りおやつの日(月1回) ・畑クラブ ・料理クラブ ・ひっつみの会
- ②健康面の管理については、嘱託医による定期診療及び協力病院と連携を図りながら健康の保持、感染症の予防と早期対応に努めた。(健康診断年1回)

(3) ボランティアの受け入れについて

小学生、中学生、高校生のボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに、福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ、利用者との交流を図った。

ボランティア (一般・学生等)	8 件	生け花、傾聴ボランティア夏祭りボランティア他					
訪問(一般·学生等)	8件	・すずらん訪問、訪問演芸会他					
実習 (一般・学生等)	14 件	• 現場実習、職場体験学習他					

(4) 利用者、家族の意見等の反映について

苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。日常生活においては、担当介護員が中心となり、コミュニケーションを多くすることで利用者の声を介護に反映させるよう努めた。また、家族には面会時の会話や報告を多くすることで信頼関係の確立に努めた。

(5) 食事について

生活の中で楽しみとなる食事は、栄養並びに利用者の身体の状況及び嗜好を考慮するとともに、適時適温とし、季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 19回 ②麺の日 毎月第2・4火曜日 ③パンの日 毎月第2木曜日
- ④選択食 奇数月第1金曜日 ⑤喫茶の日 34回(毎週水曜日) ⑥嗜好調査 2回

⑦残菜調査 2回

(6)委員会活動について

潤いのある生活を送れるよう援助するため、内部組織として次の委員会を設置し生活の向上に努めた。

①行事・給食委員会 行事、レク活動等の準備・計画及び利用者の食事に関すること。

②広 報 委 員 会 広報の発行、壁紙新聞の作成、標語の掲示等に関すること。

③保健・排泄委員会 保健衛生・健康管理及び排泄ケア、おむつに関すること。

④環 境 委 員 会 居室環境の改善·整備、物品の管理等に関すること。

(5)リスクマネジメント委員会 安全確保、身体拘束廃止推進等に関すること。

⑥褥瘡対策委員会 褥瘡発生防止、褥瘡ケアに関すること。

⑦感染対策委員会 感染の防止、発生時の対策に関すること。

⑧事故防止委員会 事故防止、発生時の対策に関すること。

⑨喀痰吸引等に係る安全委員会 喀痰吸引等の安全対策に関すること。

(7)職員の資質向上について

内部研修を開催するとともに、外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

①外部研修会・会議等参加状況 127回

②内部研修会開催状況 14回

(8)利用者の状況について

①月別入退所状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	48	48	50	49	50	50	48	49	50	50	50	49	591
入 所	3	2	1	3		2	4	1	1			1	18
退所	3		2	2		4	3		1		1	2	18
うち末日退所													
月末入所人員	48	50	49	50	50	48	49	50	50	50	49	48	591

月初入所人員数には初日入所者を含む。月末入所人員には末日退所者を含む。

②出身地別入所者状況

区分	IJ	3 4			平 成	27 年 月	夏異 動	状 況		
		ፔ !	₹	7	入 所			退所		
市町村	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
久 慈 市	11	34	45	5	13	18	5	13	18	
洋 野 町	1		1							
二戸市		1	1							
青森県野辺地町	1		1							
計	13	35	48	5	13	18	5	13	18	

③年齢別利用者状況

区	64	65~	70~	75 ~	80~	85~	90~	95~	100 -	÷1
分	~ 64	69	74	79	84	89	94	99	100~	計
男			1	3	2	5	2			13
女		2	2	1	5	13	10	1	1	35
計		2	3	4	7	18	12	1	1	48

4介護度別利用状況

区分	要介護1	要介護 2	要介護3	要介護 4	要介護 5	計
男		2	1	4	6	13
女	1	4	6	12	12	35
計	1	6	7	16	18	48

⑤年間利用状況(27年度は稼働日数を366日で算出)

									27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1	日	当	た	IJ	利	用	人	員	49. 2	49. 2	0	100.0
利	J	Ħ	延		ベ	人		員	17, 993	17, 972	21	100. 1

(9) 短期入所生活介護事業について

指定居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに基づくサービスの提供に努めた。

①短期入所者利用状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	20	24	24	21	20	21	23	18	22	23	20	21	257
(予防再掲)	20	24	24	(1)	20	21	(1)	10	22	23	20	21	(2)
延べ利用者数	290	298	296	292	315	290	313	285	286	300	292	312	3, 569
(予防再掲)	290	290	290	(4)	313	290	(4)	200	200	300	292	312	(8)
延べ実費		1	1	1	1		2	1	1	1	1	5	15
利用者数		•	'	'	'		Z	'	'	'	'	3	15
1日平均	9. 7	9. 6	9. 9	9. 5	10. 2	9. 7	10. 2	9. 5	9. 3	9. 7	10. 1	10. 2	9.8
利用者数	9. 1	9. 0	9. 9	9. 0	10. 2	9. 7	10. 2	9. 0	9. 3	9. 1	10. 1	10. 2	9. 0

長期入所者が入院した場合は、空きベッドを利用して短期利用者を受入れている。

②年間利用状況(27年度は稼働日数を366日で算出)

									27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1	日	当	た	IJ	利	用	人	員	9. 8	10. 4	Δ0.6	94. 2
利	J	用	延		ベ	人	人員		3, 569	3, 794	△225	94. 1

3 養護老人ホーム養寿荘

入所者の社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導及び訓練などで援助を行うとともに、 その有する能力に合わせた自立を目指すものとして日常生活の支援を行った。

処遇計画を作成し、その計画に基づき施設生活における自立支援を目指し、家事・生活援助と軽微な介護サービスを行った。

(1)生活面及び健康面について

- ①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。
 - ・誕生日会(毎月開催) ・衣料訪問販売 ・夕涼み会 ・敬老会 ・小雪まつり
 - ・クリスマス会 ・園児交流 ・映画会 ・小正月飾り付け
- ②健康面の管理について

嘱託医及び協力病院と連携を図りながら早期対応に努めた。

健康診断を4月・10月の2回実施した。

(2)入所者、家族の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約に努めた。

電話連絡や面会時の報告を多くすることで家族とのコミュニケーションの醸成に努めた。

(3) ボランティアの受け入れについて

ボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ利用者との交流を図った。

ボランティア	6件	・踊り・園庭等整備
訪問(学生等)	2件	・踊り・交流等
実習(学生等)	1件	• 職場体験学習

(4) 食事について

食事を楽しんでいただけるよう入所者の身体の状況及び栄養の状態を把握し、嗜好に配慮 したものとするとともに、季節感のある食事の提供に努めた。

①行事食 47回 ②選択食 21回 ③嗜好調査 2回 ④残菜調査 2回

(5)委員会活動について

内部組織として、次の委員会を設置し生活の向上に努めた。

- ①行事・レク委員会 行事・レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②リスク委員会 事故防止の検討、身体拘束廃止推進等を行った。
- ③環 境 委 員 会 生活環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
- ④感 染 症 委 員 会 感染症予防対策等を行った。
- ⑤排 泄 委 員 会 排泄介助の見直しを行った。

(6)職員の資質向上について

外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 28回
- ②内部研修会参加状況 4回

(7)入所者の状況について

①月別入退所状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	50	50	50	50	50	48	47	50	50	50	50	50	595
月中入所			1	1		1	3					1	7
月中退所			1	1	2	2						1	7
月末入所人員	50	50	50	50	48	47	50	50	50	50	50	50	595

②出身地別入所者状況

	区分		3 .	 員	平成27年度異動状況							
		玛	ሌ !	灵	7	Ē	听	追	<u>₹</u>	沂		
市町村		男	女	計	男	女	計	男	女	計		
久 亥	落 市	9	32	41	1	6	7	2	4	6		
洋 里	予町	1	3	4								
野田	日村	2	2	4								
普台	弋 村		1	1					1	1		
Ē	+	12	38	50	1	6	7	2	5	7		

③年齡別利用者状況

区	~64	65~	70 ~	75 ~	80~	85~	90~	95~	100~	=L
分	~04	69	74	79	84	89	94	99	100~	計
男		1	2	2	4	3				12
女		2	3	7	4	12	8	2		38
計		3	5	9	8	15	8	2		50

④月別面会状況

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会 者数	16	24	17	26	36	17	24	25	31	46	14	29	305	25. 4

⑤年間利用状況(27年度は稼働日数を366日で算出)

									27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1	日	当	た	IJ	利	用	人	員	49. 5	49. 6	Δ0.1	99. 8
利	J	用	延		ベ	人		員	18, 112	18, 089	23	100. 1

4 養寿莊特定施設入居者生活介護事業所

介護保険法及び老人福祉法の改正に伴い養護老人ホームは平成 18 年 10 月より特定施設入居者生活介護事業所の指定を受け、介護保険による居宅介護サービスを利用し、居宅介護サービス事業者との契約により入所者に対する居宅介護サービスの提供を行っている。利用している居宅サービスは訪問介護及び通所介護となっている。

①サービス別利用状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

区	分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介	訪問介護	38	38	38	36	36	35	33	33	34	34	34	33	422
護者	通所介護	15	15	15	14	14	12	12	11	11	11	11	11	152
要支	訪問介護	4	4	4	5	5	5	6	9	8	8	8	8	74
援者	通所介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	訪問介護	42	42	42	41	41	40	39	42	42	42	42	41	496
БI	通所介護	16	16	16	15	15	13	13	12	12	12	12	12	164

②サービス別利用状況延べ人数

[2	<u> </u>	分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要	訪問	身体介護	4, 927	4, 846	5, 028	4, 967	4, 795	4, 335	4, 451	4, 487	4, 614	4, 726	4, 381	4, 337	55, 894
要介護者	介護	家事援助	58	50	52	43	49	52	37	32	30	33	32	31	499
者	通用	听介護	88	95	98	100	80	86	92	89	81	82	73	85	1, 049
要	訪問	身体介護	25	25	25	30	36	35	43	85	72	69	67	29	541
要支援者	介護	家事援助													
者	通用	听介護	4	5	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	52
	訪問	身体介護	4, 952	4, 871	5, 053	4, 997	4, 831	4, 370	4, 494	4, 572	4, 686	4, 795	4, 448	4, 366	56, 435
計	介護	家事援助	58	50	52	43	49	52	37	32	30	33	32	31	499
	通用	听介護	92	100	102	105	84	90	97	93	86	86	77	89	1, 101

③介護度別利用状況

区分	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	計
	1	2	1	2	3	4	5	
男	2		4	1	2			9
女	5	1	9	5	5	6	1	32
計	7	1	13	6	7	6	1	41

④年間利用状況(27年度は稼働日数を366日で算出)

								27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
身	体	介	護	延	ベ	人	数	56, 435	59, 022	△2, 587	95. 6
家	事	援	助	延	ベ	人	数	499	809	△310	61. 7
通	所	介	護	延	ベ	人	数	1, 101	1, 412	△311	78. 0

5 養寿荘訪問介護事業所

平成19年10月より訪問介護事業所の指定を受け、訪問介護サービスの提供を行った。

①サービス別利用状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	38	38	38	36	36	35	33	33	34	34	34	33	422
要支援者	4	4	4	5	5	5	6	9	8	8	8	8	74
計	42	42	42	41	41	40	39	42	42	42	42	41	496

②サービス別利用状況延べ人数

区	分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介	身体介護	4, 927	4, 846	5, 028	4, 967	4, 795	4, 335	4, 451	4, 487	4, 614	4, 726	4, 381	4, 337	55, 894
護者	家事援助	58	50	52	43	49	52	37	32	30	33	32	31	499
要支	身体介護	25	25	25	30	36	35	43	85	72	69	67	29	541
援者	家事援助													
計	身体介護	4, 952	4, 871	5, 053	4, 997	4, 831	4, 370	4, 494	4, 572	4, 686	4, 795	4, 448	4, 366	56, 435
āl	家事援助	58	50	52	43	49	52	37	32	30	33	32	31	499

③介護度別利用状況

区分	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	計
区分	1	2	1	2	3	4	5	
男	2		4	1	2			9
女	5	1	9	5	5	6	1	32
計	7	1	13	6	7	6	1	41

4年間利用状況

								27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
身	体	介	護	延	ベ	人	数	56, 435	59, 022	△2, 587	95. 6
家	事	援	助	延	ベ	人	数	499	809	△310	61. 7

6 デイサービスセンター (元気の泉・大川目地区・山根地区・宇部地区)

(1)事業運営

昨年度より引き続き、デイサービスセンターの共通事項としてサービス提供時間を5~7時間を基本とし、7~9時間でのサービス提供ができる混合型での事業運営とすることでサービスを利用しやすい環境とした。また、重度の要介護者に対する質の高いサービス提供の実施と介護予防の視点から高齢者の生活において、活動性の維持、要介護状態の防止等を目的とする「介護予防事業」による「目標を定めたサービス」を実施するなど、各デイサービスセンターにおいては、サービスの充実を図るため次の取り組みをした。

- ・元気の泉デイサービスセンターは、従来から積極的に実施している重度の要介護者の受け入れを行った他、各グループ活動をより展開し、ニーズに見合ったサービスの提供に努めた。
- ・大川目地区デイサービスセンターは、職員体制の変更により運動器機能向上加算をやむなく廃止したが、介護予防のニーズに応えられるよう、効果的なプログラムの継続を行い、利用者の生活力向上に努めた。
- ・山根地区デイサービスセンターは、老朽化していた浴室タイルの改修を行い、利用者の 入浴サービス向上に努めた。
- ・宇部地区デイサービスセンターは、送迎範囲を拡大しながらこれまで以上に利用者の獲得に努めた。

(2)実施項目

- (1)計画的な運営管理の維持と実施体制の充実
 - ・送迎については、乗降時の見守り、支援による安全、安心な乗降と、送迎計画を毎月 見直すこと等により、可能な限り利用者の希望に沿った送迎体制をとるように努めた。 また、送迎計画を基に安全な送迎の実施を行った。
 - ・健康確認については、バイタルチェック(体温、血圧、脈拍等)を行うことで、適切な健康状態の把握と対応に努めた。また、体調不良者については、家族及び担当ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めた。
 - ・入浴については、利用者及び家族の利用目的の一つが入浴希望となっていることから、 利用者の状態に合わせた入浴の実施に努めた。
 - ・食事については、栄養士及び調理員が連携し、利用者の身体状況に合わせ栄養、嗜好 も考慮し、季節感のある食事の提供に努めた。
 - ・感染症対策として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、 感染の防止に努めた。また、インフルエンザ流行時には文書にて利用者、家族に注意を 呼び掛けた。

②通所介護計画等による適切なサービスの提供

・利用者ごとに担当者を決め、担当職員が中心となり個別のケアプランを作成した。このケアプランを基に担当ケアマネジャー等との連携を図り支援内容の充実に努めた。

・毎日、朝、夕のミーティングを実施し、利用者の情報を共有することで、職種間のスムーズな連携に努めた。

③利用者及び家族等に対する支援体制の充実

・連絡帳の活用や送迎時等、家族との情報交換を実施することで、利用者の健康状態等の把握に努めた。

4)開かれた施設づくりを目指して、地域との連携強化

- ・開かれた施設づくりを目指して地域との連携強化に努め、元気の泉デイサービスセンターではボランティアの受け入れを行った。また、大川目地区デイサービスセンターでは久慈職業訓練校の介護実習の受け入れを行った。
- ・大川目地区デイサービスセンターでは、併設の養護老人ホーム養寿荘との交流の機会 を持つことで地域との交流を図った。
- ・山根地区デイサービスセンター及び宇部地区デイサービスセンターでは地域の文化祭 への参加を行った。

(3) レク活動について

季節行事などを積極的に取り入れ実施した。

また、通所介護利用者と介護予防利用者の体操を別れてそれぞれの状態に合わせて行うな ど、利用者の目線に立ったサービスの実施を行った。さらに継続性を持たせることで効果が 現れるように努めた。

(4)利用者の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。また、利用者アンケートを実施することで利用者及び家族からの意見や要望の集約を図り、このアンケート結果を事業運営に反映するように努めた。

(5) 職員の資質向上について

外部研修へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状况 15回
- ②内部研修会参加状況 14回

(6) デイサービスセンター間の連携

相談員会議を毎月1回実施し、各デイサービスセンター間の情報交換を行うことで、事業運営、業務の効率化を図った。

(7)利用状況について

①月別利用状況(1日当たり利用人員)

平成 28 年 3 月 31 日現在

	27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
元気の泉デイサービスセンター	21. 2	21. 2	0.0	100.0
大川目地区デイサービスセンター	15.0 16.6		△1.6	90. 4
ス川自地区ディッーにスセンター	(1.7)	(2.5)	Δ1.0	90. 4
山根地区デイサービスセンター	12. 4	11.8	0. 6	105. 1
宇部地区デイサービスセンター	15. 3	17. 3	Δ2. 0	88. 4
子が地区ディッーに入せフォー	(1.8)	(2. 1)	Δ2. 0	00. 4
計	63. 9	66. 9	△3. 0	95. 5
āT	(3.5)	(4. 6)	△3.0	90. 5

()内は、養寿荘利用者

②年間利用状況 (利用延べ人員)

	27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
元気の泉デイサービスセンター	7, 631	7, 613	18	100. 2
大川目地区デイサービスセンター	4, 650 5, 094		△444	91. 3
ス川自地区ディッーにスセンター	(538)	(782)	△444	91.3
山根地区デイサービスセンター	3, 193	3, 023	170	105. 6
宇部地区デイサービスセンター	4, 715	5, 245	△530	89. 9
子品地区デイザーに入せフォー	(563)	(630)	Δ330	09. 9
計	20, 189	20, 975	△786	96. 3
āT	(1, 101)	(1, 412)	△ / 00	30. S

()内は、養寿荘利用者

7 久慈老人福祉センター

(1) 管理運営について

久慈市の指定管理のもと、施設管理については久慈市シルバー人材センターに管理を委託 するとともに適切な管理に努めた。

①月別利用実績

区	分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
CO 4F	男	19	7	27	31	19	19	38	28	16	30	14	48	296
60 歳以上	女	1	21	2	4	2	6	2	2	41	37	41	49	208
以上	計	20	28	29	35	21	25	40	30	57	67	55	97	504
12 歳」	人上									50				50
60 歳	未満									30				30
6 歳以	上													
12 歳ぇ	未満													
計		20	28	29	35	21	25	40	30	107	67	55	97	554

②年間利用状況

						27 年度	26 年度	対前年度(人)	対前年度(比)
利	用	延	ベ	人	数	554	730	△176	75. 9